

抗議の要請文

1月22日の原子力潜水艦ミシシッピの横須賀入港に強く抗議する。横須賀は原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦ミシシッピはただちに横須賀港から出て行くこと強く要求する。

米海軍第7艦隊司令官	フィリップス・ソーヤー中將	殿
在日米海軍司令官	グレゴリー・フェントン少將	殿
米海軍横須賀基地司令官	ジェフリー・キム大佐	殿

神奈川県労働組合総連合
 新日本婦人の会神奈川県本部
 神奈川県商工団体連合会
 神奈川県平和委員会
 安保廃棄神奈川県統一促進会議
 原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会
 原水爆禁止神奈川県協議会

1月22日午前8時52分、バージニア級攻撃型原子力潜水艦ミシシッピが横須賀基地に入港した。今年の原子力潜水艦の入港は1回目、原子力艦船の入港は1回目で、通算958回となった。現在、横須賀基地には、原子力空母R・レーガン、原潜ミシシッピの2隻の原子力艦船が滞港している。

今日、北東アジアの情勢は、北朝鮮の核開発や弾道ミサイル発射などで緊迫している。私たちは、安保理決議に反し平和を脅かす北朝鮮のこれらの暴挙を厳しく批判すると同時に、日米韓の大規模な軍事演習による威嚇の軍事行動にも反対する。この中で甚大な犠牲と破壊をもたらす戦争につながることは絶対に避けなければならない。

この状況を打開する道は、国際社会が一致して、経済的制裁強化と一体に「対話による平和的解決」に全力で取り組むことである。軍事一辺倒の圧力強化では打開できない。関係国が北朝鮮との対話・外交交渉に踏み切り、その中で核開発やミサイル発射を止め、その放棄を迫ることが重要である。

昨年は、東シナ海や日本海での軍行動や軍事演習が頻繁に行われた。このような中で、米原潜が横須賀基地に入出港を繰り返した。横須賀基地を軍事拠点にしたこのような行動は直ちにやめ、原潜ミシシッピなど原子力艦船は横須賀から出ていくことを要求する。

米原潜の核兵器搭載、核持ち込みの疑惑も払拭されていない。非核三原則を国是とする日本の港に核兵器を持ち込むことは絶対に許されない。米艦船は核兵器を積んでいないことを証明するとともに、核密約はただちに破棄することを要求する。

現在、首都圏は巨大地震発生の可能性が強まり原子力艦船の原子炉事故の可能性は増大している。米軍は地震や津波による原子力艦船の事故対策を明らかにし、県民に情報を公開することを要求する。

横須賀基地を戦争の出撃拠点にし、県民を放射能被害の危険にさらす原子力艦船の母港化、入出港はただちにやめること。原潜ミシシッピは横須賀から出て行くことを要求する。

以上